

PHJ メールニュース 2010年12月号
送信日時：2010年12月17日



PHJ メールニュース読者の皆様

2010年もあとわずかになりました。皆様お元気ですか？PHJ メールニュース 2010年12月号を配信いたします。

PHJ メールニュースはPHJの活動を支援してくださっている皆様に本部、タイ、インドネシア、カンボジアでの活動をより広く深く知っていただくために毎月メールでご報告するものです。

このメールニュースは配信を希望するとの連絡を送っていただいた方々、PHJ運営委員（オブザーバーとして出席されている方を含む）の方々、およびPHJを支援してくださっている方々にお送りしています。

PHJ メールニュース 12月号目次

1. PHJ 本部のニュース

- 1-1. チャリティー カレンダー募金へのご協力ありがとうございます
- 1-2. NPO 税制一寄付の約半額が減税されます
- 1-3. 2011年2月タイ・カンボジアへのスタディツアーのご案内
- 1-4. スタッフブログ

2. PHJ タイ事務所のニュース

- 2-1. HOPE パートナー教育プログラム
- 2-2. 子宮頸がん、乳がん教育
- 2-3. HIV/AIDS 予防教育

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

- 3-1. 地域保健・医療システム強化でセラン県知事から表彰されました
- 3-2. 栄養改善活動 - テイルタヤサ自治区

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

- 4-1. 母子保健、助産師トレーニング - プレイベン州
 - 4-2. 保健センター医療技術向上 - コンポントム州
-

1. PHJ 本部のニュース

1-1. チャリティー カレンダー募金へのご協力ありがとうございます

毎年恒例のPHJチャリティーカレンダー募金。今年も多くの企業や個人の会員の皆様にご協力いただきました。アジレント・テクノロジー株式会社、日本ヒューレット・パカード株式会社、日本ゼネラル・エレクトリック株式会社、富士電機ホールディングス株式会社、横河電機株式会社、エドワーズライフサイエンス社はじめ多くの法人会員の職場で募金キャンペーンを実施させていただきました。皆様ありがとうございました。

横河電機社内での募金には横河武蔵野アトラスターズ(ラグビー チーム)のメンバーがボランティアとして参加してくださいました。メンバーの一人からは「募金活動を通してPHJさんの東南アジアでの活動を勉強できました。先天性心臓手術や子宮頸がん・乳がんの検診率の大幅アップ、また、教育や指導などの支援により助かる命が増えているんだなと思いました。日本にいとあまり感じない事が東南アジア諸国では貴重で切実な問題になっている。自分が生かされていることを大切に思っています」とのコメントをいただきました。 http://ph-japan.org/supportPHJ/personal/kikaku.html#jirei_04

1-2. NPO 税制一寄付の約半額が減税されます

12月16日に公表された政府税制大綱でNPOへの寄付に対する税額控除が明記されました。PHJなどの国が認定した特定非営利活動法人(NPO法人)に寄付すると、寄付金額のうち、2000円を超えた分の40%を所得税分から、10%分を住民税額から控除されます。この制度は2011年3月末までに法制化され、2011年1月以降の寄付分から適用されます。

詳しくはNPOWEBの下記ニュースをご覧ください。

「【速報】寄付金税額控除・新PST実現へ！」

<http://www.npoweb.jp/modules/news1/article.php?storyid=3384>

1-3. 2011年2月 タイ・カンボジア スタディツアー募集中

あなたの知りたい、にゆえたい！PHJスタディツアー

来年2月の春のスタディツアーの募集を行っています。昨年夏の1回目の公募スタツア、今年の8月企画から参加した埼玉大学(共生社会教育研究センター/教養学部)主催「異なる文化と出会う」でのスタツアに引き続き、今回で3回目となります。

<http://www.ph-japan.org/news/detail.php?q=news4ce9c026403f5>

1-4. スタッフブログ

http://blog.livedoor.jp/ph_japan/

2. PHJ タイ事務所のニュース

2-1. HOPE パートナー教育プログラム

1998 年以來 累計 200 名の患者を支援してきました。117 名が卒業し、65 名のドナーが 68 名の患者を支援しています。今月は「目のケア」をテーマにサンパトン病院、チェンライ病院、サンサイ病院、RICD で教育セッションを実施し、合計 48 家族が参加しました。

RICD の 11 月のラーニングセンターの利用者は 187 名、2009 年 12 月のオープニング以来利用者は累計 1,000 名を越えました。ラーニングセンターではペアレントクラブが毎週ミーティングを開き、意見交換を行っています。

2-2. 子宮頸がん、乳がん教育

2010 年 11 月からの事業が外務省からの補助金の対象となり、11 月 19 日に初年度の 738 万円を入金しました。補助金に含まれたミニバスの改装が終了し、11 月 29 日サラピー郡で佐藤領事をふくむ 168 名の方が出席されてオープニングセレモニーを開催しました。12 月 2 日にはサンカンベン郡で佐藤領事が出席されてミニバスのオープニングを行いました。

村のヘルスボランティア (VHV) 教育も順調に進んでいます。11 月 15 日はメリン郡で 20 名の VHV をマスター VHV とする教育を実施、12 月 13-16 日にはサンカンベン郡で 404 名の VHV の教育、12 月 17 日、21 日サラピー郡で 204 名の教育を予定しています。また医療機器の購入、教育資材の作成準備も行っています。

一方 2008 年 11 月から 2010 年 10 月まで 3 年にわたり子宮頸がん予防教育を支援してくださった武田薬品工業株式会社様への報告とこの教育の成果を他の地域にも広めるための提案を提出いたしました。

2-3. HIV/AIDS 予防教育

ピア教育スモールスケール・プロジェクトをこれまで実施していたパヤップ大学、チェンマイ大学に加え、チェンマイ体育大学、メージョー大学、チェンマイ県アジア技術学校、ラジャマンダラ工科大学などに拡大して実施しています。12 月 1 日の世界エイズデーにはチェンマイ保健局主催のキャンペーンに参加し、これらの大学での啓発パレードに PHJ タイ事務所も参加しました。

3. PHJ インドネシア事務所のニュース

3-1. 地域保健・医療システム強化でセラン県知事から表彰されました

2010 年に 2 件の保健センター・助産室の建設支援を行ったことでセラン県の知事より 表

彰されました。欲を言えばハードの建設支援だけでなく、助産師の教育などのソフト面での活動も評価して欲しかったと PHJ インドネシアの伊藤所長。

3-2. 栄養改善活動 — テイルタヤサ自治区

味の素株式会社様からのご支援をうけ、テイルタヤサ診療所内の「栄養センター」の調理機材の調達・整備が完了しました。12月1日に味の素インドネシアのスタッフを迎え寄贈式・オープニングを行いました。また3回目のメニューコンテストをこの栄養センターの柿落ととして実施します。今回のテーマは「幼児1食分メニュー」として、11村で競い合います。<http://www.ajinomoto.co.jp/activity/kouken/food/history.html#a>

4. PHJ カンボジア事務所のニュース

4-1. 母子保健。助産師トレーニング — プレイベン州

前年度に2回にわたりトレーニングをうけたヘルスセンターの助産師2名に11月29日から1週間のリフレッシュトレーニングを実施しました。また第2回から第4回のトレーニングをうけたヘルスセンターの助産師6名のフォローアップトレーニングがFY2011の事業として残っています。

4-2. 保健センター医療技術向上 — コンポントム州

11月には母親健康手帳の抜き打ちチェックを行いました。保健センターのリストから妊婦さんを選んで、手帳への記入状況を見て、妊婦健診や保健教育が適切に行われているか聞き取りました。サービスが改善され、保健センターの助産師への印象が良くなっていることを確認しました。衛生モニタリングでは100点満点で平均95点以上を確認しました。伝統的産婆さん(TBA)とのミーティングでは妊婦さんと家族、TBA、保健センター助産師の連携で、出産後の出血トラブルとなった妊婦さんを、村から保健センター、病院へとスムーズに移送し、産婦さんが無事退院という事例の報告がありました。保健センターのネットワークづくりが順調に進んでいる結果です。

15村で保健教育を実施しました。トピックは「栄養」と「妊婦健診」でした。1村平均55名、計823名が参加しました。プリ、ポストテストでは100点満点で43から93点に向上しました。この教育では大塚製薬株式会社様から寄付していただいたソイジョイを配ったため子供たちが進んで参加してくれ、確認クイズにも挑戦してくれました。

4-3. 「安全なお産」支援募金が有効に使われています

2010年春から実施している妊婦健診・分娩奨励キットの配布は、第1期分として各保健セン

ターに 125 個ずつ配布しました、11月単月で妊婦健診キット 37、分娩奨励キット 52 累計(5月から11月)でそれぞれ455セット、302セットを配布しました。「安全なお産」支援募金は本当に有効に使われていますので、引き続き皆様のご支援をお願いいたします。

http://www.ph-japan.org/supportPHJ/personal/kikaku.html#jirei_02

□ ■ クリック募金にご協力ください！

イーココロ！クリック募金

ピープルズ・ホープ・ジャパンは募金サイト **イーココロ！「クリックから世界が変わる、毎日無料でできるいいこと」**に参加しています。<http://www.ekokoro.jp/ngo/195/>

PHJ メールニュース 2010 年 12 月号を最後まで読んでいただきありがとうございます。
このメールニュースへのご意見、ご要望は info@ph-japan.org までお送りください。
次号の参考にさせていただきます。

またこのメールニュースの配信を希望されない方は info@ph-japan.org までメール
ニュース配信不要とご連絡ください。

発行者：

認定NPO法人

ピープルズ・ホープ・ジャパン

代表 木村 敏雄

広報 矢崎 祐子、南部 道子

〒180-8750

東京都武蔵野市中町 2-9-32

Tel:0422-52-5507 Fax:0422-52-7035

e-mail: info@ph-japan.org

URL: <http://www.ph-japan.org>

Copyright: 2010 ピープルズ・ホープ・ジャパン
